

第1回客船研究会

客船産業を中核とした第3の海事クラスターの創生!!
日本のクルーズ客船建造復活を目指して!! (LNG タンカーの5倍の高船価商船の建造)
日本の造船業を儲かる産業に再生!! (高い生産性を生かして高付加価値船の建造へ)

日時; 2026年3月20日(金、祝日) 12:00-18:00

場所; 梅田レンタルスペース会議室 (定員 70 名)

大阪市北区堂島町 1-5 三共梅田ビル B1F

地図 URL <https://goo.gl/maps/G7uhafeGYAJ2>

参加申し込み; メールにて氏名、所属、会員・非会員、懇親会参加希望(実費)の別を記載して下記学会事務局にお申し込みください。

学会事務局メールアドレス; cruise-ferry@cruise-ferry.main.jp

参加費; 日本クルーズ&フェリー学会会員 6800 円 (団体会員企業の社員を含む)

非会員 10000 円

会費は下記口座への事前振り込みをお願いします。

紀陽銀行 中もず支店 普通 476738 日本クルーズ&フェリー学会

郵便振替 口座記号番号 00930-8-322203 口座名称: 日本クルーズ&フェリー学会

※振込手数料は 自己負担にてお願いします

スケジュール

12:00-12:10 研究会会長挨拶(片山徹)

12:10-12:20 本研究会設立趣旨説明(池田良穂)

12:20-13:00

世界のクルーズ客船の現状分析

大阪府立大学名誉教授 池田良穂

13:00-13:40

欧州のクルーズ客船建造を中核とする造船業の現状

大阪公立大学教授 片山 徹

13:40-14:20

商船三井クルーズ 船隊更新の歴史と計画(新造、買船、船籍を分けるもの)

(株)商船三井ウェルビーイングライフ事業部アドバイザー 山口直彦

14:20-14:30

休憩

14:30-15:00

客船の安全性規則の動向

大阪大学名誉教授 梅田直哉

15:00-15:40

世界のフェリーの現状分析(1) -ROPAX、クルーズフェリー、小型フェリー

池田良穂

世界のフェリーの現状分析(2) -高速カーフェリー、高速純客船-

片山 徹

15:40-16:20

国内フェリーの現状と技術

臼杵造船所 執行役員設計部長 村山和宏

16:20-17:00

客船の内装デザインと設計・施工の実績紹介と、その経験を通じて見えた今後の課題

長崎船舶装備 設計部長 宮脇幹一

17:00-17:20

客船・旅客フェリーにおけるサインの事

+ability (スタビリティ) 株式会社代表取締役(サインデザイナー) 保科真一

17:20-18:00

ディスカッション； 近未来のクルーズ&フェリービジネスは？

- (1) ゼロエミッション対応でのクルーズ客船シェア拡大策
- (2) 船主（発注者）の立場からなぜ日本のヤードやデザイン会社に発注しにくいのか
- (3) 全講演者から一言
- (4) 会場からの質疑

梅田直哉

山口直彦